

令和6年度(2024年度)用

小学校国語科書写用

---

# 「新編 新しい書写」 年間指導計画作成資料 【5年】

---

令和6年(2024年)1月版

※単元ごとの配当時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

「新編 新しい書写 五」(第5学年)年間指導計画

月	単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連	単元の目標	時数	学習活動 【書写のかぎ】	観点別評価規準
4	<p>●おかしなバースデーカード</p> <p>●書写の学び方</p> <p>○学習の準備をしよう</p> <p>・用具の準備/用具のかたづけ方</p> <p>・書きやすい姿勢と、筆記具の持ち方</p> <p>・毛筆で書いてみよう 表紙裏～p.9</p> <p>◎ [知識及び技能] (3)エ(イ) 【用具】毛筆・鉛筆</p>	<p>○1年間の学習を見通し、書写の学習の進め方を理解することができる。</p> <p>○毛筆・硬筆の姿勢や持ち方、用具の置き方・扱い方・かたづけ方を理解することができる。</p> <p>○点画の種類を確認し、書き方に気をつけて書くことができる。</p>	2	<p>①1年間の学習の流れを見通す。</p> <p>②書写の学習の進め方を理解する。</p> <p>③毛筆の用具の置き方・扱い方・かたづけ方を確認する。</p> <p>④毛筆・硬筆の姿勢・持ち方を確認する。</p> <p>【姿勢・持ち方】</p> <p>⑤既習の点画の書き方について確認する。</p> <p>【点画の書き方】「横画」「縦画」「点」「折れ」「左払い」「右払い」「反り」「曲がり」</p> <p>⑥自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】</p> <p>○毛筆・硬筆の姿勢や持ち方、用具の置き方・扱い方・かたづけ方を理解している。</p> <p>○点画の種類と書き方を確認して書いている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○硬筆での姿勢や持ち方と比べながら、毛筆での姿勢や持ち方を見直している。</p> <p>【主】</p> <p>○1年間の学習を見通し、書写の学習の進め方を知って、積極的に学習に取り組もうとしている。</p>
4・5	<p>○組み立て方(による)〈道〉 p.10～11</p> <p>◎ [知識及び技能] (3)エ(ア)(イ) 【用具】毛筆・鉛筆</p>	<p>○「による」の組み立て方を理解し、正しく整えて書くことができる。</p>	4	<p>①「による」の組み立て方を見つける。</p> <p>【字形】組み立て方(「による」)</p> <p>②「による」の組み立て方を確認する。</p> <p>③毛筆を使って、②の組み立て方を確認する。</p> <p>④毛筆の学習を生かして、「による」の組み立て方を硬筆に広げる。</p> <p>⑤自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】</p> <p>○「による」の組み立て方を理解している。</p> <p>○「による」の組み立て方を正しく整えて書いている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○「による」の組み立て方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】</p> <p>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、「による」の組み立て方に気をつけて、進んで書こうとしている。</p>
5・6	<p>○点画のつながり〈きずな〉 p.12～13</p> <p>◎ [知識及び技能] (3)エ(ア)(イ) 【用具】毛筆・鉛筆</p>	<p>○平仮名の点画のつながりを理解し、つながりに注意して書くことができる。</p>	3	<p>①平仮名の点画から点画への動きの特徴を見つける。</p> <p>【書くときの動き】点画のつながり</p> <p>②平仮名の点画のつながりを確認する。</p> <p>③毛筆を使って、②のつながりを確認する。</p> <p>④毛筆の学習を生かして、平仮名の点画のつながりを硬筆に広げる。</p> <p>⑤自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】</p> <p>○平仮名の点画のつながりを理解している。</p> <p>○平仮名の点画のつながりを意識して書いている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○平仮名の点画のつながりを、ほかの文字にどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】</p> <p>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、平仮名の点画のつながりに気をつけて、進んで書こうとしている。</p>
6	<p>○筆順の決まり p.14～15</p> <p>◎ [知識及び技能] (3)エ(イ) 【用具】鉛筆</p>	<p>○筆順の原則を理解し、正しく書くことができる。</p>	1	<p>①筆順の原則を見つける。</p> <p>【書くときの動き】筆順</p> <p>②筆順の原則に注意して、筆順に従って書く。</p> <p>③自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】</p> <p>○筆順の原則を理解している。</p> <p>○筆順の原則に従って、正しく書いている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○筆順の原則を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】</p> <p>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、筆順の原則に気をつけて、進んで書こうとしている。</p>

月	単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連	単元の目標	時数	学習活動 【書写のかぎ】	観点別評価規準
7	○筆順と点画のつながり p.16 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(イ) 【用具】鉛筆	○筆順と点画のつながりの関係を理解し、正しく書くことができる。	1	①筆順と点画のつながりの関係を見つける。 【書くときの動き】筆順、点画のつながり ②筆順と点画のつながりの関係に注意して、筆順に従って書く。 ③自己評価・相互評価をする。	<b>[知・技]</b> ○筆順と点画のつながりの関係を理解している。 ○筆順と点画のつながりの関係を意識して、正しい筆順で書いている。 <b>[思・判・表]</b> ○筆順と点画のつながりの関係を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 <b>[主]</b> ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、筆順の原則に気をつけて、進んで書こうとしている。
7	▼生活に広げよう ・ノートを書こう p.17 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア) 【用具】鉛筆 ★他教科との関連：家庭	○横書きの行の整え方と、既習の文字の整え方を理解し、ノートを書く場面で生かすことができる。	1	①横書きの行の整え方を確認する。 ②既習事項を確認する。 ③既習事項を生かして、ノートを丁寧に書く。 ④自己評価・相互評価をする。	<b>[知・技]</b> ○横書きの行の整え方を理解している。 ○既習事項を生かして、文字を正しく整えて書いている。 <b>[思・判・表]</b> ○既習事項をどのように生かすか考えている。 <b>[主]</b> ○既習事項を生かして、進んでノートを書こうとしている。
9	○筆順と接し方 〈成長〉 p.18～19 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(イ) 【用具】毛筆・鉛筆	○筆順と接し方の関係を理解し、正しく整えて書くことができる。	3	①筆順と接し方の関係を見つける。 【書くときの動き】筆順 【字形】点画の接し方 ②筆順と接し方の関係を確認する。 ③毛筆を使って、②の書き方を確認する。 ④毛筆の学習を生かして、筆順と接し方の関係を硬筆に広げる。 ⑤自己評価・相互評価をする。	<b>[知・技]</b> ○筆順と接し方の関係を理解している。 ○筆順に注意し、点画の接し方を正しく整えて書いている。 <b>[思・判・表]</b> ○筆順と接し方の関係を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 <b>[主]</b> ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、筆順と接し方の関係に気をつけて、進んで書こうとしている。
9・10	○漢字どうしの大きさ 〈白馬〉 p.20～21 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(イ) 【用具】毛筆・鉛筆	○漢字相互の大きさの関係を理解し、正しく整えて書くことができる。	3	①漢字相互の大きさの整え方を見つける。 【配列】文字の大きさ ②漢字相互の大きさの整え方を確認する。 ③毛筆を使って、②の整え方を確認する。 ④毛筆の学習を生かして、漢字相互の大きさの整え方を硬筆に広げる。 ⑤自己評価・相互評価をする。	<b>[知・技]</b> ○漢字相互の大きさの関係を理解している。 ○漢字相互の大きさの関係が分かるように正しく書いている。 <b>[思・判・表]</b> ○漢字相互の大きさの関係を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 <b>[主]</b> ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、漢字相互の大きさの関係に気をつけて、進んで書こうとしている。

月	単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連	単元の目標	時数	学習活動 【書写のかぎ】	観点別評価規準
10	○目的に合った筆記具 p.22～23 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(ウ) 【用具】各種筆記具	○目的や場面に合わせて筆記具を使い分けることを理解し、気をつけて書くことができる。	1	①目的や場面に合わせた筆記具の使い分け方について考える。 【筆記具・用紙】 ②目的や場面に合わせた筆記具の使い分けを確認する。 ③具体的な場面に対して、適切な筆記具を考える。 ④自己評価・相互評価をする。	<b>【知・技】</b> ○目的や場面に合わせて筆記具を使い分けることを理解して書いている。 <b>【思・判・表】</b> ○筆記具の使い分けについて、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 <b>【主】</b> ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、筆記具の使い分けに気をつけて、進んで書こうとしている。
11	▼生活に広げよう ・委員会活動を伝える リーフレットを作ろう p.24～25 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(ウ) 【用具】フェルトペン ほか ★他教科との関連：国語	○目的に応じて筆記具や書き方を選び、既習の文字の整え方を理解して、リーフレットを書く場面で生かすことができる。	2	①リーフレットの書き方を確認する。 ②既習事項を確認する。 ③既習事項を生かして、リーフレットを丁寧に書く。 ④自己評価・相互評価をする。	<b>【知・技】</b> ○目的に応じた筆記具や書き方を選択している。 ○既習事項を生かして、伝わりやすさを考えて書いている。 <b>【思・判・表】</b> ○目的に応じて、既習事項をどのように生かすか考えている。 <b>【主】</b> ○既習事項を生かして、進んでリーフレットを書こうとしている。
	◇文字といっしょに ・書いて味わおう (竹取物語・おくのほそ道) p.26 【用具】鉛筆 ★他教科との関連：国語	○既習事項を生かして、丁寧に書くことができる。	—	①既習事項を生かして、我が国の言語文化に関する文章を丁寧に書く。	<b>【知・技】</b> ○既習事項を理解して、丁寧に書いている。 <b>【思・判・表】</b> ○既習事項をどのように生かすか考えている。 <b>【主】</b> ○既習事項を生かして、進んで書こうとしている。
11 ・ 12	◇文字といっしょに ・書きぞめをしよう 〈出発〉〈強い決意〉 p.27～29 p.49～52 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(イ) 【用具】毛筆	○既習の文字の整え方を理解して、書き初めを丁寧に書くことができる。	3	①既習事項を確認する。 ②既習事項に気をつけて、書き初めをする。 ③自己評価・相互評価をする。	<b>【知・技】</b> ○既習事項を理解して、丁寧に書いている。 <b>【思・判・表】</b> ○既習事項をどのように生かすか考えている。 <b>【主】</b> ○既習事項を生かして、進んで書き初めを書こうとしている。
1	○行の中心(小筆) 〈俳句「雪とけて～」〉 p.30～31 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア) 【用具】小筆・鉛筆	○行の中心の整え方を理解し、正しく整えて書くことができる。	3	①行の中心の整え方を見つける。 【配列】行の中心 ②行の中心の整え方を確認する。 ③小筆を使って、②の整え方を確認する。 ④小筆の学習を生かして、行の中心の整え方を硬筆に広げる。 ⑤自己評価・相互評価をする。	<b>【知・技】</b> ○行の中心の整え方を理解している。 ○行の中心を正しく整えて書いている。 <b>【思・判・表】</b> ○行の中心の整え方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 <b>【主】</b> ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、行の中心の整え方に気をつけて、進んで書こうとしている。

月	単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連	単元の目標	時数	学習活動 【書写のかぎ】	観点別評価規準
	◇文字といっしょに ・書いて味わおう(枕 草子) p.32  【用具】鉛筆 ★他教科との関連：国語	○既習事項を生かして、丁寧に書くことができる。	一	①既習事項を生かして、我が国の言語文化に関する文章を丁寧に書く。	[知・技] ○既習事項を理解して、丁寧に書いている。 [思・判・表] ○既習事項をどのように生かすか考えている。 [主] ○既習事項を生かして、進んで書こうとしている。
2	▼学びを生かそう ・五年生のまとめ 〈星ふる町〉 p.33～35  ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(イ)(ウ) 【用具】毛筆・フェルトペンほか ★他教科との関連：国語	○自分のめあてを持ち、既習事項を生かして正しく整えて書くことができる。	3	①1年間の既習事項を振り返る。 ②既習事項の中から、自分のめあてを立てる。 ③自分の立てためあてに気をつけて、毛筆や硬筆で好きな言葉や文章を書く。 ④自己評価・相互評価をする。	[知・技] ○既習事項を理解している。 ○既習事項に注意して、正しく整えて書いている。 [思・判・表] ○既習事項をどのように生かすか考えている。 [主] ○自分のめあてを持って学習に取り組む、その評価を今後にも生かそうとしている。
3	▼学びを生かそう ・六年生におくる言葉 を書こう p.36～37  ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(イ)(ウ) 【用具】各種筆記具	○既習事項を理解し、カードや寄せ書きを書く場面で生かすことができる。	2	①カードや寄せ書きの内容や形式を決める。 ②既習事項を確認する。 ③既習事項を生かして、カードや寄せ書きを丁寧に書く。 ④自己評価・相互評価をする。	[知・技] ○目的に応じた筆記具や書き方を選択している。 ○既習事項を理解して、正しく整えて書いている。 [思・判・表] ○目的に応じて、既習事項をどのように生かすか考えている。 [主] ○今までの学習を生かして、進んでカードや寄せ書きを書こうとしている。
	◇文字といっしょに ・世界の文字いろいろ p.38～39	○世界にはさまざまな文字があることを理解し、文字文化への関心を高めることができる。	一	①世界各国で使われているいろいろな文字について学習する。	[主] ○世界各国で使われているいろいろな文字に興味を持って、文字文化への関心を高めようとしている。